

## 第36回 (社)北海道建築士会全道大会(釧路大会)のご案内

### 大会テーマ 「絆で築く建築士の未来」



第36回 社団法人北海道建築士会全道大会実行委員長  
社団法人北海道建築士会釧路支部 支部長 **大宮 敦男**

この度発生した東北地方太平洋沖地震により犠牲になられた方々に哀悼の意を表し、被災されました多くの方々に心よりお見舞い申し上げます。

ご存知のように天災に加え原子力発電所の事故が発生し、現在日本はかつて経験した事のない深刻な状況に陥っております。そのような折に全道大会を開催すべきか否か検討を重ねて参りましたが、幸にして道東では人的被害は無かったものの、水産を始め各方面での津波による経済的被害が甚大である事を踏まえ、被災地の一つでもある釧路に活気を取り戻すためにも釧路大会を開催する運びとなりました。

本大会では、時代の波に負けず未来を築くため、仲間との絆を軸足に建築士としての互いの絆と社会における役割について考える大会にすべく準備を進めてまいりましたが、それに加え、いざ災害が発生した時、建築士として社会にどう貢献できるのかを考える機会にしたいと存じます。

被災地である釧路も全面復興へと前進しております。観光都市としての新しい顔である旅客船ターミナルを始め、二つの雄大な国立公園、世界三大夕日と謳われる絶景は変わらぬ美しさで皆様をお迎えすることでしょう。

釧路を応援しお越し下さる会員の皆様方の為、感謝を込めて新鮮な海の幸、風味豊かな地酒「福司」をご用意して、心よりお待ちしております。

#### [大会プログラム]

月 日	時 間	開 催 内 容	会 場
9月23日 (金)	13:00~13:30	青年サミット 受付	全日空ホテル 2F 芙蓉
	13:30~17:30	青年サミット テーマ:『Let's Move』折り紙建築 地域 color—私の好きな 北海道建築物—	
	18:30~20:30	懇親会	
9月24日 (土)	10:00~	来賓・大会参加者受付開始	全日空ホテル 3F
	10:30~12:00	理事会	全日空ホテル 3F 万葉
	12:00~13:00	昼食	全日空ホテル 3F 万葉
	13:00~14:15	基調講演	全日空ホテル 2F 芙蓉
	14:30~16:30	分科会 A分科会 (女性委員会) B分科会 (まちづくり委員会) C分科会 (青年委員会) D分科会 (情報委員会)	国際交流センター 3F 研修室 1F ホール 1F ホール 2F 視聴覚室
	16:45~18:15	大会式典	全日空ホテル 2F 芙蓉
	18:30~20:30	懇親会	全日空ホテル 3F 万葉

## 分科会

### A分科会 3. 11 その時あなたは・・・建築士として何が出来ますか。 女性委員会

突然、東北地方を襲った地震、津波、そして原発の不安に日本中が凍りついたあの日。あなたは何をしていましたか？

誰もが当たり前のようにあった日常を振りかえり、災害時の備えや安全、安心のありかた、自分の立場で何が出来るのかを考え直したのではないのでしょうか・・・。

ここ釧路でも被害がありました。その状況を真近かで触れた市民、行政、団体の方たちをパネルに迎え、それぞれの立場からどのように行動したか、必要な情報はあったのか、何が不足だったかなどを生きた声として聞きたいと思います。

さらに災害に対して、事前、その時、その後に出来ることを話し合い、私たち建築士にはどんなことが求められているのかを探ります。

### B 分科会 「災害に強いまちづくり」を考える

まちづくり委員

この度の東日本大地震は、東北地方の太平洋沿岸に未曾有の大被害をもたらしました。大津波の破壊力は、いとも簡単に堅固な建物をも押し流し、それは映画のCG画面とも見間違える程で、現実のものとは思えない光景でした。

この震災では、津波に対しても充分耐えると思われた RC 造の建物でさえも実際に倒壊するなど、多くの「想定外」の事態が起きました。しかしながら、私たちにはこれまでも幾多の困難を乗り越え、復興を果たした歴史があります。

この災害による教訓を無駄にすることなく、現状の住環境に照らし合わせながら、より安全・安心な環境づくりを目指す役割と責任が建築士に求められるのではないのでしょうか。

B分科会では実際に被害を体験された東北ブロックの建築士会会員の方から体験談をお聞きし、今後、災害を未然に防止し、被害を最小限に抑えるためにはどうすれば良いのか、被災時の対応はどのようにすべきなのかなどについて皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

### C分科会 「自助・公助・共助」 ～地域防災力の向上～

青年委員会

近所付き合いが希薄なってきた現代、人の意識と人の輪（絆）の面で、災害に強いコミュニティをどのように作っておくかが、今後の課題になっていると思います。

今回は「災害図上訓練」(DIG)を通じて、まずは自分の住んでいる家、地域や周辺の現況を把握し、防災力の向上に役立てていただきたいと思います。

### D分科会 築きあげよう情報の絆を～仲間でもつ情報網の有効活用を目指して～

情報委員会

情報は、仲間（会員）で築き上げ育てていくものであります。

そうしたときに、毎月発行されている会誌「北海道建築士」や「ホームページ」を良い形で発展形成させていくためには、仲間の力が大変重要な役割を持つと思います。

会誌では、限られたページ数で中身の濃い情報発信、ホームページでは即時性のある情報発信を、災害発生時においては情報の伝達など、仲間の知恵や絆による協力が大切なことです。

これら情報（会誌・HP・連絡網など）をこれからいかにして築き上げ、そしてどのように発展させていくかを考えるのはとても重要なことです。

この分科会では、仲間相互のコミュニケーション、これからの情報発信方法、災害などの発生時における連絡方法・仲間の所在確認方法など、連携についてワークショップを行い情報網の有効活用方法を探って行きたいと思います。

## 基調講演 「国土の復興・創生と北海道の役割」

講師：釧路公立大学学長 小 磯 修 二

大阪市生。1972年京都大学法学部卒業、国土交通省（旧国土庁、北海道開発庁）等を経て、1999年6月より釧路公立大学教授、地域経済研究センター長、2008年4月より学長。地域政策研究の分野において、内外の研究者、行政官、民間人を機動的に集め実践的に地域課題の解決に向けた研究プロジェクトを展開。

また、中央アジア地域等で地域開発分野での国際貢献活動にも従事。

公職：北海道観光審議会会長他多数。

著書：「戦後北海道開発の軌跡」（2007年6月、北海道開発協会）、  
「地域自立の産業政策」（2007年11月、イマジン出版）他

## 青年サミット 『Let's Move』折り紙建築 地域 color—私の好きな北海道建築物—

**主 旨：**地域性を考慮したテーマを題材に新たな建築士観についての意見交換等を行います。各地域の建築士が減少する中、建築士会の活動のヒントを模索する各支部の皆様へ釧路支部の活動を紹介します。“少人数”で“低予算”そして“楽しく”建築士らしい活動とその実践活動を、全道の仲間たちと体験したいと思います。さらには、建築士の職能の紹介とペーパークラフトによる立体の創造を通して、学生（釧路高専・釧路工業高校：未来の建築士）と交流し、建築士という職業の理解と未来のまちづくりに、学生が興味を持ってもらうきっかけの場にします。道内各地から多くの皆様の参加をお待ちしております。

### ロプログラム

13:00～13:30	受付
13:30～13:50	開催挨拶、事業説明
14:00～16:20	体験事業（ペーパークラフト）
16:30～17:30	施設見学（まなぼっと、幣舞橋周辺） 総評
17:30～18:30	会場移動、チェックイン
18:30～20:30	懇親会（炉端 煉瓦）



## 第36回全道大会会場ご案内



本大会：釧路市観光国際交流センター	釧路市幸町 3-3	TEL：0154-31-1993
本大会：釧路全日空ホテル	釧路市錦町 3-7	TEL：0154-31-4111
サミット：釧路全日空ホテル	釧路市錦町 3-7	TEL：0154-31-4111